

[協働事業の企画書概要]

<p>事業名</p> <p>事業主体</p>	<p>下水汚泥を利用した有用製品開発と事業化</p>
<p>事業の概要</p>	<p>『どういう問題を解決しようとしていますか？』                  市の人口は年率数%増加しており下水量も増える筈。現状は下水汚泥を焼却し、セメント原料としているが、需給バランスが崩れたとき、その処理が問題という。そこで焼却灰の再資源化と環境対策の両面から、セメント以外の用途開発を検討する。                  当面、セラミック製品（レンガ・タイル等）、園芸用品、建設資材などへの再資源化が考えられる。まず、実験室的に試作検討し、可能性ありと判断されれば、事業化へ移行する。                  エコ商品として育て、市内外に広く販路を開拓して、事業の独立採算を目指す。</p>
<p>どういう主体と協働するのがよいと考えていますか？</p>	<p>主体 A：市の汚泥焼却担当部署</p> <p>主体 B：本提案に賛同される市民・技術経験者</p> <p>主体 C：実験及び生産場所提供者</p>
<p>協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか？</p>	<p>主体 A：焼却灰の供給 焼却灰に関する技術 情報の提供 用途開発への協力</p> <p>主体 B：焼却灰を原料とした新製品開発推進事業化へ向けての製品計画、生産プロセス設計の立案推進</p> <p>主体 C：適当な規模の生産拠点の確保 遊休工場など</p>
<p>その他</p>	<p>製品開発完了までは、資金・情報等の面で、市の担当部署との連携が必要。                  環境に配慮した特長ある製品開発を目指す。                  事業化に際しては、法人を設立して運営し、可能な限り中高年人材を活用する。</p>